



地域体験活動では、子どもたちが県庁を飛び出し、地域に根付いた施設や団体を訪問し、直接お話を伺うことで、滋賀県の魅力や課題について学びます。今年は4か所の協力をいただき、子ども議員たちは各地で貴重な体験をしています。

たねや・クラブハリエ訪問の様子

9月8日、子ども議員たちは年間300万人以上の来場者を誇る滋賀県の人気観光地、たねや・クラブハリエの旗艦ショップ店「ラコリーナ近江八幡」を訪問しました。この日は特別に、お客様が入ることのできない場所にも足を踏み入れ、ラコリーナの裏側に密着する貴重な体験をさせていただきました。



スケジュールと体験内容

1日の活動は、たねや・クラブハリエの「しあわせ推進室」室長 田原さんによる説明からスタートしました。田原さんは、たねやグループの会社理念や運営の取り組みについて丁寧にお話してくださいました。その後、子どもたちは以下のような場所を見学・体験しました

・敷地を見渡せる塔の上

高台からラコリーナ全体を見渡ししながら、どのように自然と共生しているかを学びました。

・バームクーヘンなどの製造ラインの工場

子どもたちは、バームクーヘンやその他のお菓子が作られる製造ラインを見学しました。製造のプロセスやフードロスを最小限に抑えるための工夫、製品の品質管理などについて学びました。

・田植えの場所

田植えが行われているエリアでは、自然との関わり方や地域農業への配慮について学ぶ機会がありました。

・社員専用の食堂

子どもたちは、社員が利用する食堂で食事をし、働く人たちが快適に過ごせる環境づくりの工夫に触れました。

たねやグループさんご紹介

たねやは、1872年創業の老舗菓子メーカーで、滋賀県を拠点に全国展開しています。素材にこだわり、北海道十勝地方の小豆や滋賀県の良質な地下水を使用するなど、安全・安心のお菓子作りを実践。戦後生まれの栗饅頭や洋菓子ブランド「クラブハリエ」も人気です。さらに、お菓子作りを越えた持続可能な社会の実現や農業の発展を目指し、地域や環境と共生する姿勢が特徴です。こうしたことから今回「観光・魅力・環境・琵琶湖」の分野でお話をいただけないかと相談しました。

子どもたちの学びと感想

子どもたちは、たねやグループの取り組みから多くのことを学びました。一部の感想をご紹介します。

・地球温暖化対策と持続可能な社会の実現

「地球温暖化を抑えつつ、持続可能な社会を率先して作っており、滋賀の魅力を全国に発信していることがわかった。」

・自然との共生と製品作りの工夫

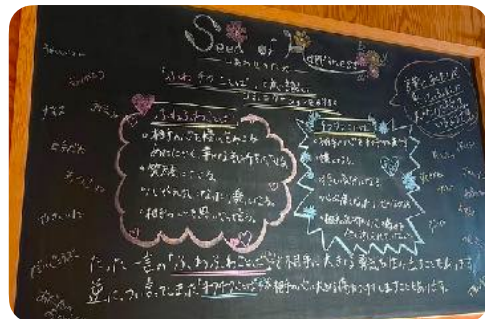
「自然を大切にしながら、バームクーヘンやお菓子・和菓子を作っていることに感動した。フードロスを防ぐために、社員さんがたくさんの工夫をしていることが印象的だった。」

・全国に伝える自然との共生

「周りの会社だけでなく、草や水などの自然も大切にしていることが素晴らしいと感じた。こうした店舗を作ることで、全国の人々に自然と共に生きる姿勢を届けていることが素晴らしいと思った。」

・たねやグループの「心構え」

「たねやグループが大切にしている『心構え』は、自然の恩恵を間近で感じられる社員環境や、会社や社会の原点を振り返る環境があるからこそ生まれるものだと感じました。原材料を無駄にせず、感情を込めて作り出されるその姿勢は、理想の営業スタイルとして全国に広がってほしいと思いました。」



まとめと今後の活動に向けて



たねやグループの訪問を通じて、子どもたちは自然との共生や働く人たちへの配慮の大切さを学びました。お客様だけでなく、地域や社員を大切にする姿勢から、持続可能な社会づくりにどのように貢献しているかを実感する機会となりました。このような体験を通じて、子どもたちは地域の魅力を深く知り、滋賀県の未来について具体的な考えを持つようになります。次回の地域体験活動も楽しみにしてください！